病院名	岩手県立宮古病院
研修科目名	呼吸器科

◇ 概要

当科は宮古下閉伊地区唯一の呼吸器・総合内科です。そのため当然ながら呼吸器、総合内科を中心とした初期対応から重症患者のレスピレータ管理を含めた集中治療管理まで幅広く診療を行なっています。臨床医としては必ず必要となる胸部X線写真の読影、高齢化社会となり必ず遭遇すると考えられる肺炎、慢性閉塞性肺疾患の治療など研修医にとっては充実した研修を行なうことが可能と考えます。

◇ 研修目標

将来の専門領域にかかわらず、すべての医師に必要とされる呼吸器疾患、総合内科疾患の診断、検査および治療における技能を習得すること。

1. 肺炎患者の原因菌の検索、治療（抗菌薬の選択）、重症患者の集中治療
2. 管理の習得。
3. 慢性閉塞性肺疾患患者の慢性期、急性期管理と治療の習得。
4. 気管支喘息の管理、重積発作時の緊急処置および集中管理の習得。
5. 慢性呼吸不全患者の外来管理、在宅酸素療法に対する理解を深める。
6. 肺癌の診断・治療、全身および精神管理の習得。
7. 気管支鏡手技の習得。
8. 貧血の鑑別診断と治療の習得。
9. 白血病・悪性リンパ腫の治療・管理。
10. ＤＩＣなどの出血傾向の対処法を習得。

◇ 研修項目

1. 検査法

1) Ｘ線検査
ⅰ 胸部単純Ｘ線
ⅱ 胸部断層撮影
ⅲ 胸部ＣＴ断層
2) 胸部ＭＲＩ
3) 核医学検査
4) 呼吸機能検査
5) 喀痰検査
6) 動脈血ガス分析
7) 胸腔穿刺
8) 気管支鏡検査
9) 内科的胸腔鏡検査
10) 骨髄穿刺

2. 治療法

1) 気管支拡張薬、鎮咳薬、去痰薬
2) ステロイド薬
3) 抗生物質
4) 酸素療法
5) 人工呼吸器
6) 胸腔ドレナージ法
7) 呼吸リハビリテーション
8) 慢性呼吸不全患者の生活指導・栄養指導

3. 疾患・病態各論

1) 感染症
ⅰ 急性上気道炎、急性気管支炎、肺炎
ⅱ 肺化膿症
ⅲ 肺真菌症
ⅳ 肺結核症・非定型抗酸菌症
ⅴ その他

2) 閉塞性肺疾患・気道系疾患
i 気管支喘息
ii 慢性気管支炎
iii 肺気腫
iv びまん性汎細気管支炎
v 気管支拡張症
vi 無気肺

3) 腫瘍性疾患
i 肺癌
ii 良性肺疾患
iii 縦隔腫瘍
iv 転移性肺腫瘍
v その他

4) 間質性肺疾患
i 特発性肺線維症
ii 慢性好酸球性肺炎
iii ＢＯＯＰ
iv その他

5) 免疫・アレルギー性肺疾患
i 肺サルコイドーシス
ii 過敏性肺臓炎
iii 急性好酸球性肺炎
iv その他

6) 胸膜疾患
i 気胸
ii 胸膜炎
iii 膿胸
iv 胸膜腫瘍

7) 肺循環障害
i 肺血栓塞栓症
ii 原発性肺高血圧症
iii 肺性心

8) 塵肺症
i 珪肺症
ii 石綿肺

9) 呼吸不全・呼吸調節障害
i ＡＲＤＳ
ii 急性呼吸不全
iii 慢性呼吸不全
iv 睡眠時無呼吸症候群
v 過換気症候群

10) 血液疾患
i 貧血
ii 白血病
iii 悪性リンパ腫
iv ＤＩＣ、出血傾向

◇ 臨床研修到達度評価

1. 診察法（聴診等の身体所見の聴取を含む）
2. 検査法
1) 胸部Ｘ線写真の読影
2) 胸部ＣＴの読影
3) 呼吸機能検査の解析・評価
4) 動脈血採血の実施・評価
5) 胸腔穿刺の実施・所見の評価
6) 骨髄穿刺の実施・所見の評価
3. 症候学
1) 呼吸困難の鑑別
2) 慢性咳嗽の鑑別
3) 胸痛の鑑別
4) 貧血の鑑別

4. 疾患
1) 一般的な感染症の診断・評価・治療
2) 気管支喘息の診断・評価・急性期治療・慢性期管理
3) 肺結核の診断・評価・移送
4) ＣＯＰＤの診断・評価・治療
5) 肺腫瘍の診断・評価・治療選択
6) 気胸の診断・治療
7) 貧血の診断・治療選択
8) 血液悪性疾患の評価・管理
9) ＤＩＣ、出血傾向の診断・治療

呼吸器科・総合内科　週間予定表

	月	火	水	木	金
8:00	カンファレンス 病棟回診	病棟回診	抄読会 研修医当直 振返り会 カンファレンス 病棟回診	カンファレンス 病棟回診	病棟回診
8:30	救急診療（～17:15）			救急診療（～17:15）	研修医当直 振返り会
9:00		外来診療（～17:15）			外来診療（～17:15）
9:30	外来診療（～17:15）			外来診療（～17:15）	
13:00			気管支鏡		